

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月18日

計画の名称	氷見市住まい整備計画（第3期 氷見地域住宅計画）											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	氷見市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>『既設公営住宅のストック改善を推進し、高齢者や子育て世帯が安心して住めるまちづくりを実現する。』</li> <li>『地震災害に備えるため、住宅等の耐震化、空き家対策の促進を行う。』</li> <li>『良好な住環境を形成する。』</li> </ul>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	149	A	149	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	公営住宅の水洗化率を61%から70%に引き上げ、居住性向上を計る。 公営住宅の水洗化率を61%から70%に引き上げる （公営住宅の水洗化率）＝（水洗化されている住戸数／全戸数）（％）（出典：氷見市建設課）	61%	%	70%
2	空き家率16.1%を維持し、災害に強いまちを目指す。 空き家率16.1%を維持する （空き家率）＝（空き家戸数／全戸数）（％）（出典：総務省住宅土地統計調査）	16%	%	16%
3	市全域において民間建築物におけるアスベスト含有調査を推進し、良好な住環境を形成する。 民間建築物においてアスベスト含有調査を実施する建築物の割合 （アスベスト含有調査を実施する建築物／市内におけるアスベスト含有建築物の推計値 101戸／108戸 106戸／108戸）	94%	%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	居住性向上型 26棟(164戸)、長寿命化計画改定	氷見市						100		策定済
	A15-002	住宅	一般	氷見市	間接	民間	-	-	住宅相談・住情報提供事業	定期相談会1回/月の実施	氷見市						3		-
	A15-003	住宅	一般	氷見市	間接	個人	-	-	ふるさと定住促進事業	市内住宅取得者へ補助	氷見市						21		-
	A15-004	住宅	一般	氷見市	間接	個人	-	-	住宅・建築物アスベスト改修事業	吹付け材アスベスト含有調査 支援上限100千円/1棟	氷見市						1		-
	A15-005	住宅	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業)	除去6件、実態把握1500件	氷見市						13		策定済
	A15-006	住宅	一般	氷見市	間接	個人	-	-	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業)	除去22件	氷見市						11		策定済
											小計						149		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
												合計						149		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

氷見市建設部都市計画課において実施

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

インターネット（氷見市のホームページ）にて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・既存公営住宅のストック改善を推進し、高齢者や子育て世帯にとって安全で快適な居住空間の提供ができた。
- ・公営住宅の水洗化を行うことで、住宅セーフティネットの機能を向上することができた。
- ・老朽危険空き家の除却を支援することで、市内の空き家対策事業を進めるとともに地震災害に備えたまちづくりができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・公営住宅等長寿命化計画に基づいた事業を実施し、既存公営住宅のストック改善を推進した。

特記事項（今後の方針等）

- ・令和元年度に策定した「氷見市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、予防保全的な観点や安全で快適な住まいを供給するため、改善事業を進め、効率的な維持管理を実現し、長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を図る。
- ・また、令和2年度に策定した「地域住宅計画」においても、既存市営住宅ストックの居住環境の向上や長寿命化計画に基づく住戸改善、子育て世帯、高齢者等が使いやすい住戸に改善する。
- ・民間建築物におけるアスベスト含有調査の未実施個所については、引き続き所有者等へ調査の必要性を説明するなど働きかけを実施していく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	（公営住宅の水洗化率） = （水洗化されている住戸数 / 全戸数）（％） （出典：氷見市建設部都市計画課）	
	最終目標値	70%
	最終実績値	75%
計画に基づき事業を実施し目標を達成したが、用途廃止による分母の縮小により差が生じた。		
2	（空き家率） = （空き家戸数 / 全戸数）（％） （出典：総務省住宅土地統計調査）	
	最終目標値	16%
	最終実績値	14%
計画に基づき事業を実施した。経年的な住宅総数減のため、分母分子の減少により差が生じた。		
3	（アスベスト含有調査を実施する建築物 / 市内におけるアスベスト含有建築物の推計値 101 / 108戸 106 / 108戸）（％）	
	最終目標値	98%
	最終実績値	94%
申請者数が見込みを下回ったため。また対象施設の除却等により分母分子の減少で差が生じた。（最終実績値 95 / 101戸）		

# 地域住宅支援

計画の名称	1 氷見市住まい整備計画（第3期 氷見地域住宅計画）	交付対象	氷見市
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）		

